



つみしっ子



積志小学校だより
令和3年4月9日

学校教育目標：求めて共に学び 夢を目指す子を育てる

令和3年度 積志小学校教育活動 スタート！

4月7日の午前に入学式を行い、144人の1年生を迎えました。午後には2年生から6年生が登校し、新任式、始業式を行いました。子供たちの姿が学校にあるというのは嬉しいことです。

令和3年度の積志小学校は、全校児童807人、28学級でのスタートです。



始業式（リモート）では以下のことを子供たちに伝えました。

- ① 子供たちが安心して自分の力を発揮し、楽しく学んだり遊んだりできる学校にしたいということ
- ② 積志小の教職員は、全力で子供たちを支えること、困ったり悩んだりしたときは相談してほしいこと
- ③ つみしっ子の合い言葉『3つの「あ」』を、本物にしていくこと
「あいさつしよう」「あたたかな言葉をつかおう」「あきらめない」

本校は、明治42年4月に創立され、長い歴史を刻んできています。そして、本校の校章は、明治41年の積志村誕生にあたり、村の紋章として考案されたものです。「志」の文字を三つ組み合わせて「志を積む」の意味を表すとともに、地域の花である「水仙」をかたどっています。積志中学校も同じ校章であり、積志地区の、学校に対する思いを強く感じます。



本年度は、積志小学校創立から112年を数える年となります。また、風船をきっかけとした福井県越前市の武生東小学校との交流は、60周年を迎えます。職員一同、本校の歴史の重みと、子供たちの成長に関わることに對する責任とやりがいを感じております。子供たち全員が、安心して、明るく元気に学校生活を送り、力いっぱい学習に取り組むことができるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

<校長 中谷好一（なかや よしかず）>